

告 示

令和5年度冬季一時金につきまして、委員会の結果、下記の通り要求額を決定し団体交渉に入りますので宜しくお願い致します。

< 記 >

要 求 額 組合員一人平均 350,000円

要求支給日 令和5年12月8日

以 上

令和5年11月27日

中北薬品労働組合

中央執行委員長 片野 信吾
(公印省略)

組合員各位

委告05-56-2

告示の通り、令和5年度冬季一時金要求額について、第1回委員会において決定致しましたので、会社に要求書を提出し団体交渉に入ります。

要求額決定の経緯

167期上期業績は、販売計画1,122億6,500万円に対して、1,098億9,790万円で、遂行率97.9%、対前年比102.2%、売上総利益63億1,300万円(5.74%)に対して、販管費63億6,900万円(5.80%)であり、営業損失5,500万円(-0.05%)という結果となりました。167期下期からの評価基準変更に伴い、半期交渉となる事を確認した上で、要求額についての協議を行ないました。

委員会のなかでは、初めに167期上期業績数値を確認し、他卸業績との比較検証を行いました。売上総利益率は大手卸と遜色のない結果となりましたが、販管費率が他卸と比較して1%の開きがあることから、営業利益率についても1%の差という結果となりました。それらの結果を踏まえた上で、委員より冬季一時金に対する現場の思いを確認しました。営業現場からは、退職者の増加に伴い、1人に掛かる負荷が以前と比較して何倍にもなっているなか、出荷調整対応、新規開拓、拡売、WEB会議、講演会等、精神的にも限界を感じながら何とか利益に繋がるよう日々頑張っている事、他卸がスペシャリティ薬によって利益を確保しているなかで、自分達は売差改善と加重改善に徹底して拘った結果が、他卸と同等の営業利益率に結びついたのではないかとの思い、内勤者からは、販管費削減や業務効率を上げるために、アイデアを出し合いながら細かい部分まで業務改善に努めている、などのいくつもの意見が上がりました。その上で、今の現場の雰囲気は深刻な状況であり、今回の一時金要求額が現場のモチベーションに与える影響は、これまでとは比較にならない程大きく、離職を食い止めるためには最大限の要求をして欲しいと多くの委員から訴えがありました。

167期上期業績は、営業損失が5,500万円という結果でしたが、下期については、これまで以上に利益に徹底的に拘った価格交渉をしていく事、流通コストを踏まえた配送回数や土曜配送削減の行動を、現場で協議して本気で進めていく事、全員がメタル品をあらゆる場所に紹介して、全力で販売していく事で、自分達で行動して利益を生み出し、年間での営業利益黒字化に組合員一丸となって取り組む事を確認しました。

これらを踏まえ、日々のモチベーションを切らすことなく業務を遂行するために必要な金額として、35万円の要求額が委員全員の総意として決定しました。以上が要求額決定の経緯となります。

これより団体交渉に入りますが、組合員の皆様の現場での頑張り、またその声に応えるべく全力で交渉に臨みますので、組合員の皆さまの更なるご支援をお願い致します。

令和5年11月27日
中北薬品労働組合
中央執行委員長 片野 信吾